

わかりやすい

つくば市障害者プラン

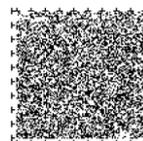
かいていばん

改定版

【令和6年（2024年）3月】

ページの下に「音声コード（ユニボイス）」があります。スマートフォンのアプリなどを使って音声で内容を聞くことができます。

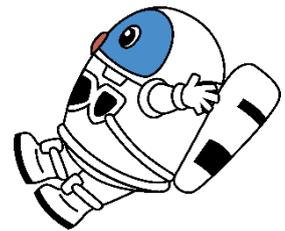
これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs



1 あたらしい^{けいかく}計画をつくりました

この^{けいかく}計画は、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人や^{しょうがい}障害のある^こ子どもが、つくば^し市で^{じぶん}自分らしく^{あんしん}安心して^{せいかつ}生活できるようにすることをめ^め目指してつくりました。

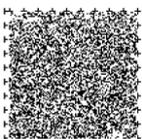
この^{けいかく}計画をつくるために、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人や^{しょうがい}障害のある^こ子どもが、^{いま}今どのように^{せいかつ}生活しているのか、^{こま}困っていること、^{きぼう}希望していることを^{しら}調べて、^{しょうがい}障害のある^{ひと}人や^{しせつ}施設の人などで、^{かんが}みんなでいっしょに^{かんが}考えました。



2 ^{けいかく}計画の^{かんが}考^{かた}え方

この^{けいかく}計画の^{かんが}考^{かた}え方は^{つぎ}次の^{とお}通りです。

^{しょうがい}障害のある^{ひと}人もない^{ひと}人も、^{かんが}みんながいっしょに^{あんしん}安心して^{じぶん}自分らしく^{せいかつ}生活できる^{しゃかい}社会をめ^めめざす

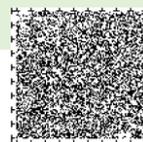


障^{しょうがい}害のある人もない人もおたがいを^{おも}思いやりながら、市民^{しみん}が
みんなでささえあい、いきいきと^{あんしん}安心して暮^くらすことのできる
まちをつくります。

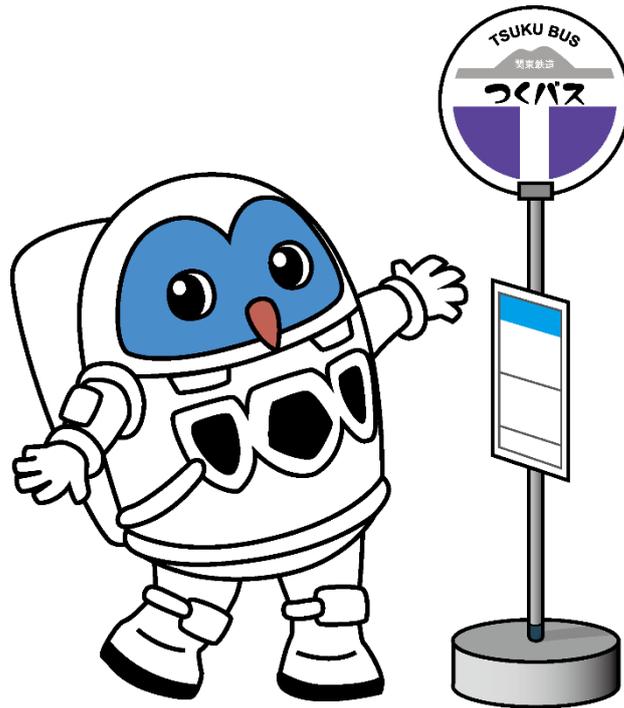


とく^とく^く取り組むこと

- ・「障^{しょうがい}害」や「障^{しょうがい}害のある人」について、みんなに知^しってもらったり、考^{かんが}えてもらったりするためのイベントを開^{ひら}いたり、お知^しらせを^したりします。
- ・だれもがかんたんに情^{じょうほう}報^{あつ}を集めることができるようにします。
- ・障^{しょうがい}害のある人もない人も、同^{おな}じ場^{ばしょ}所で学^{まな}ぶことができるようなまちをめざします。
- ・ボラン^{さんか}ティアに参^{ひと}加する人をふやします。また、障^{しょうがい}害のある人^{ひと}が参^{さんか}加^{ひる}できるボラン^{さんか}ティアを^{ひろ}げていきます。

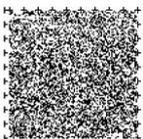


しょうがい ひと としよ たちば た す
障 害のある人やお年寄りの立場に立って、住まいやまちのな
かこまで困ることや大たいへん変なことをなくし、生活せいかつしやすいまちをつ
ります。



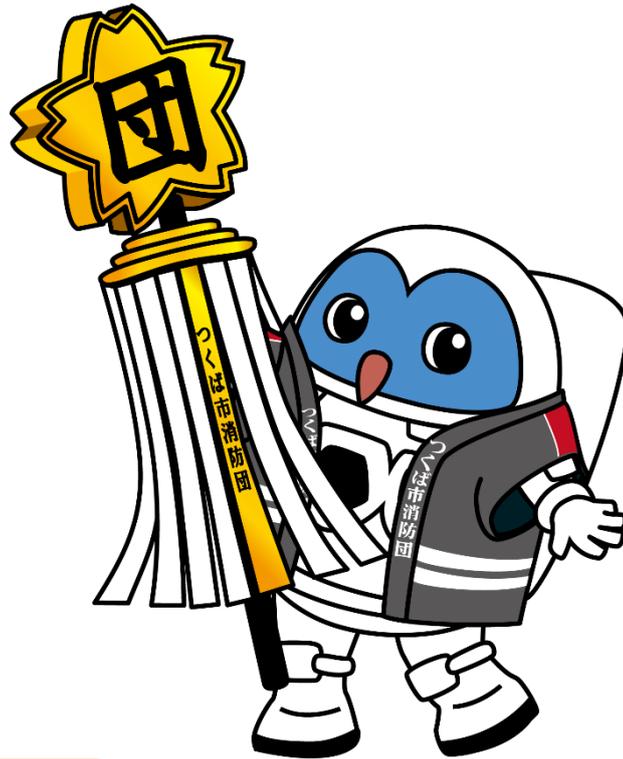
と 組 む 事 務

- す いえ じょうほう しら
・住みやすい家の情報をだれもがかんたんに調べられるようにし
ます。
- しょうがい ひと ひと い い
・障 害のある人もない人も行きたいところに行けるようにするた
めに、建物の中や道路の段差を少なくしたり、障 害のある人も
の たても の なか どうろ だんさ すく しょうがい ひと
乗ることができるバスやタクシーを増やしたりします。



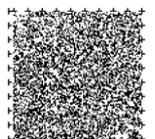
基本目標 3 安全・安心に暮らせるまちをつくる

災害(地震・台風など)や犯罪から障害のある人を守り、安全で安心した暮らしができるようにします。



とく
取り組むこと

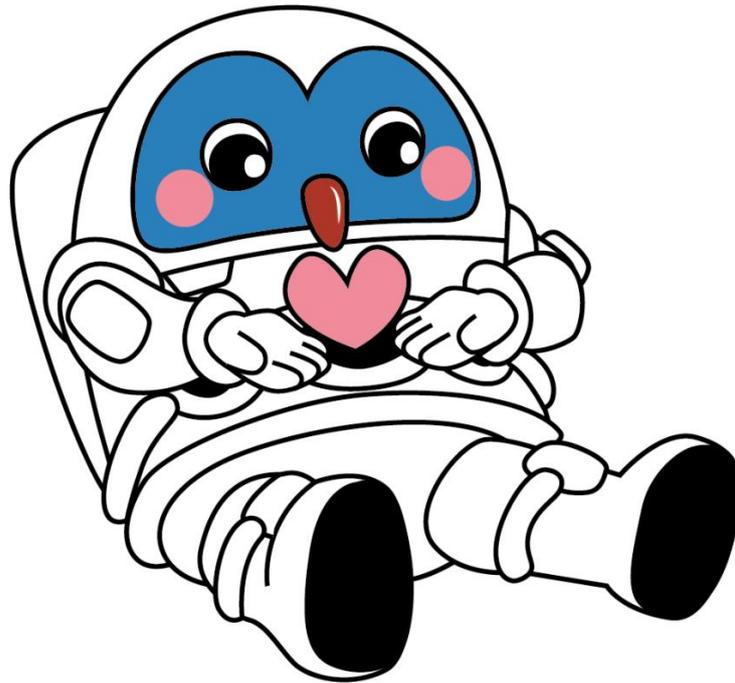
- 地震や台風がおきたときに、どうすればいいのかがわかるような、「防災ガイドブック」を広めたり、ひなんくんれんをしたりします。
- ものをとられたり、いらぬものを買わされたりしないように、気をつけることを広めていきます。



基本目標 4 障害のある人の権利を守る

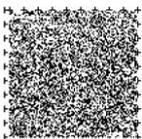
障害のある人が差別を受けたり、いやな思いをしないように、

障害のある人の権利を守る取り組みをします。



とく 取り組みこと

- ・自分で決めることや手続をすることがむずかしい人のために、相談に乗り、手続をしてくれる人を見つけます。また、このように助けてくれる人がいるということを、広めていきます。
- ・「差別や虐待をしてはいけない」という決まりがあることを広めていきます。また、差別を受けたり、深く傷つけられたときに相談できるしくみをつくり、相談できる場所があることを広めていきます。



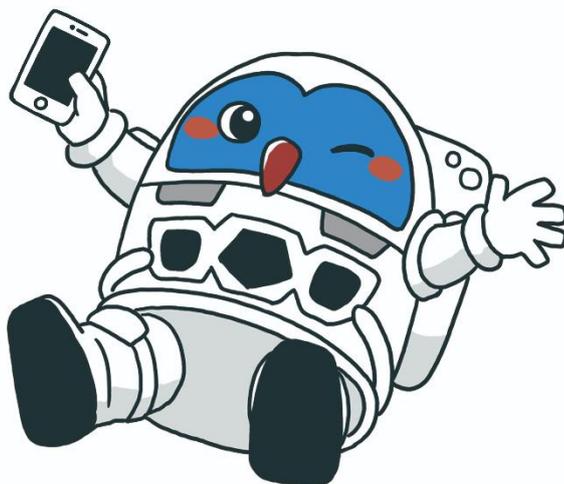
基本目標 5

障害のある人が地域で生活する

ためのしくみをつくる

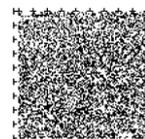
障害のある人が、自分らしくいきいきと生活できるよう、

日常生活を助けるサービスを用意します。



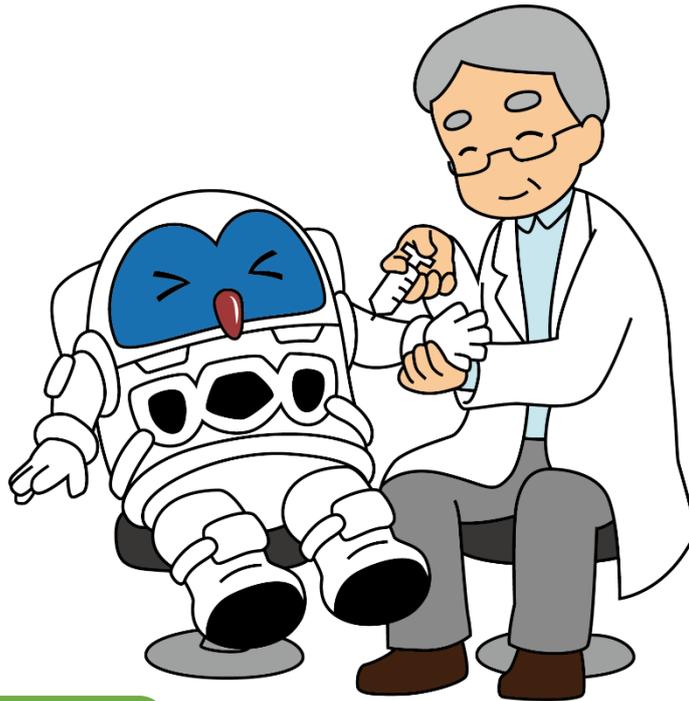
とく
取り組むこと

- 市役所・病院・学校などが協力して、障害のある人が生活していくうえで必要なことを考えて、その人に合った手助けをします。
- 生活の助けになるサービスを、必要な時に使うことができるようにします。
- 困ったことがあったときに相談できるしくみをつくります。また、相談できる場所がどこにあるのかをわかりやすくまとめ、その情報を広めていきます。



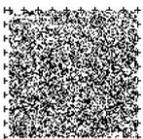
基本目標 6 保健・医療のしくみを整える

病気や障害が重くなるのを防いだり、病気や障害があっても、健康に暮らすことができるようなしくみを作ります。

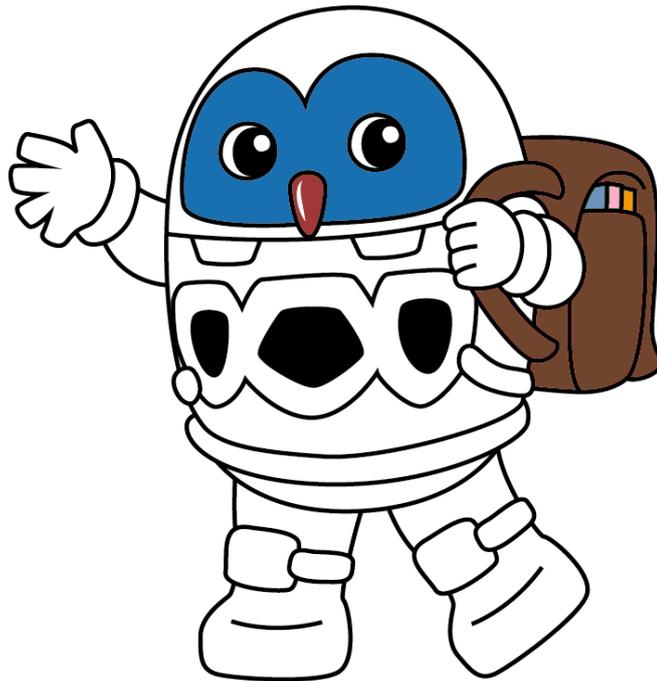


とく りく む こと

- ・ 子どもの成長の様子を決まった時期に確認して、必要な手助けをしていきます。
- ・ 障害のある人や、成長に不安がある子どもが過ごすことができる場所を用意します。
- ・ 障害が原因で入院している人が、退院したあとに地域で生活できるよう、必要な手助けをしていきます。

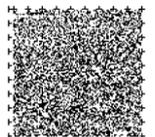


がっこう こ はったつ ささ ば ようい こ すこ
学校や、子どもの発達を支える場を用意して、子どもの健やか
せいちょう
な成長と、その保護者・家庭を支えます。



とくく 取り組むこと

- それぞれの子どもに合わせた手助けができるよう、専門の人たちと保護者が相談できる場を用意します。
- 子どもや先生を手助けする人を用意し、子どもが学校で困らないように、また、困ったときにすぐに相談できるようにします。
- 子どもが健やかに成長できるよう、学校の先生や施設の先生もさらに勉強していきます。



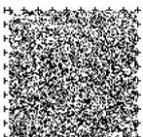
基本目標 8 はたら 働くための てだす 手助けをする

しょうがい しょうがい ひと ひと じぶん じぶん あ あ しごと しごと てだす てだす
障害のある人が、自分に合った仕事ができるように手助けします。

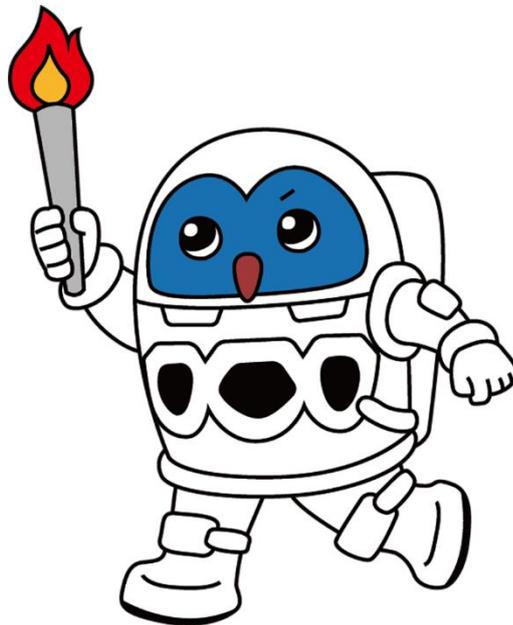


と ぐ 取り組むこと

- しごと しごと べんきょう べんきょう れんしゅう れんしゅう ようい ようい
・ 仕事をするための勉強や練習ができるサービスを用意します。
- しょうがい しょうがい ひと ひと はたら はたら ふう ふう
・ 障害のある人が働くことができるところを増やします。
- しょうがい しょうがい ひと ひと はたら はたら めんせつかい めんせつかい おこな おこな
・ 障害のある人が働くための面接会を行います。

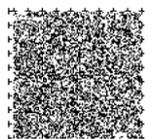


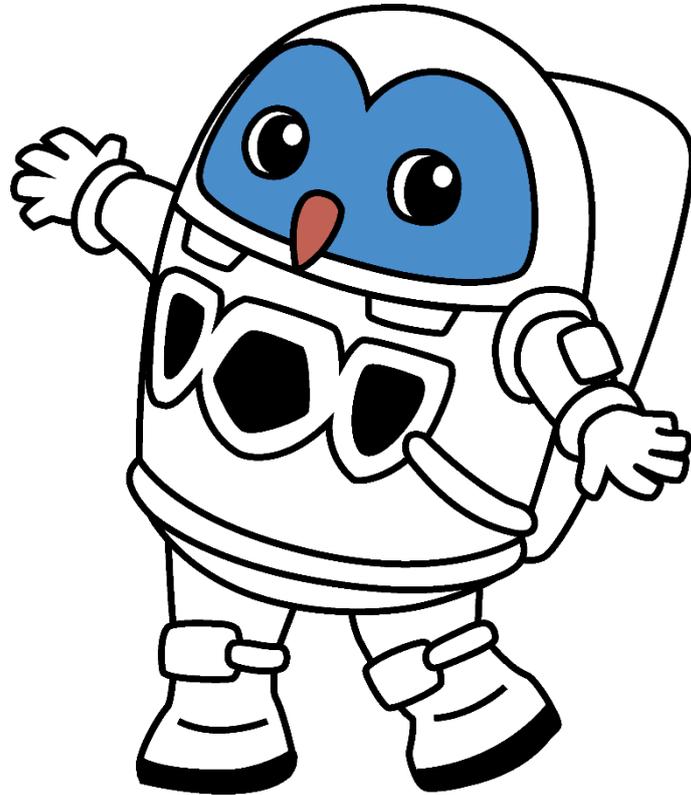
しょうがい ひと ゆた せいかつ おく ぶんか
障害のある人が豊かな生活を送ることができるように、文化
げいじゅつ
芸術・スポーツなど、それぞれが好きなことに取り組めるよう
かんきょう ようい
な環境を用意します。



とく 取り組みこと

- しょうがい ひと つく さくひん てんじ げき はっぴょうかい ひら
・ 障害のある人が作った作品の展示や、劇などの発表会を開きます。
- しょうがい ひと ひと とく
・ 障害のある人もない人も、いっしょに取り組むことができるイベントを開きます。





つくば市 し 福祉部 ふくしぶ 障害福祉課 しょうがいふくしか
〒305-8555 いばらきけん 茨城県つくば市 し 研究学園一丁目 しけんきゅうがくえんいちちようめ 1番地 ばんち 1
でんわ 電話 029-883-1111 だいひょう (代表)
ふあつくす F A X 029-868-7544

